

単元  
**35**

授業ガイド  
教師用  
**終末**

**単元目標**

初級：歴史は神の国の完成に向かって進んでいることを理解する

中級：神の国がどのような段階を経て完成するかを理解し受け入れる

上級：神の国の計画の完成を希望として喜び、「教会時代」における私たちの使命に生きる

**単元聖句** ペテロⅡ 3:13

本単元は終末論を学びます。初級は、初めて教会に来た、聖書を読むのは初めて、というような生徒を想定しています。中級は、模範解答は知っているが、「もう知っている」と考えて耳を閉ざすような生徒を想定しています。上級は、聖書知識があり、終末に関することについていくらか知ってはいるものの、その知識が未整理だったり疑問を抱いたりしている生徒を想定しています。

**第 1 課 新天新地**

**タイトル** 「新しい天と新しい地の到来」

**聖書箇所** 黙示録 21:1

神は失われた神の国を新しい天と新しい地という、最終的な永遠の神の国のパラダイスの再到来で回復されます（ペテロⅡ 3:13、黙示録 21:1～22:5）。神の栄光に輝くパラダイスが私たちの最終的な行き先であることは大きな希望を与えます。

**授業目標**

初級：人（世界）の造られた目的（神の国で神に仕えること）を知る

中級：永遠の神の国が到来するという計画を、聖書から理解し受け入れる

上級：神の計画が段階的にどのように展開するかを理解し、今を生きる

**第 2 課 再臨・千年王国**

**タイトル** 「キリストの地上王国支配」

**聖書箇所** 黙示録 20:4

キリストは地を裁くためにこの世界に再び来られると約束されます（マタイ 24:30、使徒 1:11、ヘブル 9:28）。そのとき聖徒たちのために千年王国を今の地上に打ち建てられ王として千年間支配されます（黙示録 20:4～6）。しかし、キリストの王国支配を拒む者は千年王国が終わったときに最終的な裁きを受けることとなります（黙示録 20:7～15）。

**授業目標**

初級：私たちの希望はどこにあるかを聖書から学ぶ

中級：千年王国がどのように現れ、どのようなものであるかを理解する

上級：神の国の計画の中のどこに自分がいるかを確認して使命に生きる

**第 3 課 携挙・患難時代**

**タイトル** 「患難時代からの救い」

**聖書箇所** テサロニケⅠ 5:2

「主の日」と呼ばれる全世界への患難時代が訪れることが旧約預言者によって預言されていました（マラキ 4:1～3）。この「主の日」の裁きの期間はダニエルの第70週の7年間です（マタイ 24:1～35、ダニエル 7:26～27）。その裁きの前にキリストが空中に再臨され、すべてのクリスチャン（教会）は携挙によって救われます（テサロニケⅠ 1:10, 4:16～17, 5:9）。

携挙により教会は存在しなくなるものの、患難時代においてもキリストを信じる人々が現れ、新たな群れが形成されます。そしてその群れは患難時代を経験しますが、神は最終的にその群れを救ってくださいます（黙示録 7:9～17）。新約時代に神が明らかにされた悪への最終的な裁きと神の民の救いを知ることは私たちに大きな希望と力を与えます。

**授業目標**

初級：キリストの再臨はいつでも起こり得ることを知る

中級：新約聖書の「主の日」の教えの進展を知る

上級：「主の日」の出来事の流れと人々の応答を知り、信仰生活に活かす。

**第 4 課 死後の世界・肉体の復活**

**タイトル** 「死んでも生きる」

**聖書箇所** コリントⅡ 5:10

教会時代に死を迎えるクリスチャンのたましいはパラダイスに行きます(ルカ 23:39~43、ピリピ 1:21~24)。携挙されたクリスチャンは復活の体を受け取ります。すべてのクリスチャンはキリストのさばきの座に立ち、救われた後の人生の評価(報い)を受けます(コリントⅡ 5:6~11)。報いに応じて千年王国でキリストに仕え(ルカ 19:11~27)、最終的に新天新地に向かいます。クリスチャンの私たちは希望に燃やされて毎日を主と共に生きる力をいただくことが許されます(ローマ 8:18)。

**授業目標**

初級：人が死を迎えるときに天国に行く方法を示す

中級：人が死を迎えるときの中間状態と最終的な行き先に関する聖書の教えを理解する

上級：キリストのさばきの座でクリスチャンに求められるものを知り、信仰生活の励みとする